

作成日 2010年10月1日  
改訂日 2016年5月20日4版

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ルミパルスシステム用 ソーダライム  
会社名 富士レビオ株式会社  
住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1  
担当部門 お客様コールセンター  
電話番号 0120-292-832  
FAX 番号 03-6279-0204  
製品コード 301166

### 2. 危険有害性の要約

成分（危険有害物質）：ソーダライム

GHS分類

健康に対する有害性：皮膚腐食性/刺激性：区分 1A

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分 1

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分 1（呼吸器系）

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分 2（肺）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 重篤な皮膚の薬粧・眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器（呼吸器系）の障害

長期又は反復暴露による臓器(肺)の障害のおそれ

注意書き：【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させるこ

と。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚（または毛）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

暴露した場合：医師に連絡すること。

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

#### 【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 水酸化カルシウムを主成分とする水酸化ナトリウム、水酸化カリウムとの混合物

別名： ソーダライム

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム

化学特性（化学式等）：  $\text{Ca}(\text{OH})_2$ ,  $\text{NaOH}$ ,  $\text{KOH}$ ,  $\text{H}_2\text{O}$

分子量：  $\text{Ca}(\text{OH})_2=74.09$ ,  $\text{NaOH}=40.00$ ,  $\text{KOH}=56.11$ ,  $\text{H}_2\text{O}=18.02$

C A S N o : 8006-28-8

濃度又は濃度範囲： 水酸化カルシウム(80~85%)、水酸化ナトリウム(1~5%)、水酸化カリウム(1~5%)、水分(12~19%)

官報公示整理番号（化審法）：(1)-181、(1)-410、(1)-369

### 4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ安静保温に努め、医師の手当てをうける。

皮膚に付着した場合：付着部又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。

眼に入った場合： 直ちに多量の水で数分間洗い流す。

飲み込んだ場合： ただちにうがいをさせ、卵白または大量の牛乳を飲ませて医師の手当てを受ける。胃等の粘膜を侵されているので無理にはかかせてはいけない。

### 5. 火災時の措置

消火剤： 本品は不燃物であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。

火災時の特有危険有害性：消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

特有の消火方法： 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲を水噴霧で冷却する。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和：

掃き集めて回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

特になし

注意事項：

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。

使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱い注意事項：吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件： 容器は乾燥した場所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

技術的対策：

特になし

混色禁止物質：

アルカリ性なので、酸性の製品とは同一場所に貯蔵しないこと。

安全な容器包装材料：ガラス、ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度

OSHA PEL： 設定されていない

ACGIH TLV(s)： TWA 10mg/m<sup>3</sup> (total dust)

日本産業衛生学会：設定されていない。

## 保護具

呼吸器の保護具： 防じんマスク、空気呼吸器  
 手の保護具： 保護手袋  
 目の保護具： 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具： 保護長靴、長袖作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外観（形状、色）： 白色～わずかに薄い褐色の粒状  
 臭い： 無臭  
 pH： 水浸液は強塩基性  
 融点／凝固点： データなし  
 沸点、初留点と沸騰範囲： データなし  
 引火点： データなし  
 自然発火温度： データなし  
 燃焼又は爆発範囲：  
 （上限） データなし  
 （下限） データなし  
 蒸気圧： データなし  
 蒸気密度： データなし  
 比重： データなし  
 溶解性：  
 溶媒に対する溶解性： 薄い塩酸に溶け、水に部分的に溶ける。  
 オクタノール／水分配係数： データなし  
 分解温度： データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 空気中で湿気及び炭酸ガスなどの酸性ガスを吸収する。  
 危険有害反応可能性： データなし  
 避けるべき条件： 日光、熱、酸  
 危険有害な分解生成物： データなし

## 11. 有害性情報

混合物としてのデータはない

急性毒性： 経口 ラット LD50: 7340mg/kg (RTECS) (水酸化カルシウム)  
 経口 ラット TDLo: 44mg/kg (RTECS) (水酸化ナトリウム)  
 経口 ラット LD50: 273mg/kg (RTECS) (水酸化カリウム)

皮膚腐食性・刺激性： 眼および気道を含むすべての身体表面暴露に対し中程度の刺激性を示すとの記述 (ACGIH, 7th, 2001) 及びヒト皮膚に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) あり。(水酸化カルシウム)

ヒト皮膚に対して 0.5%以上で irritating (SIDS, 2002)、severe corrosion (DFGOT vol. 12, 1999) を引き起こすとの記述及びブタ皮膚に対して 8%以上で corrosion (SIDS, 2002)、ウサギ皮膚に対して 5%, 4 時間で severe necrosis とある (ACGIH, 7th, 2001);

PATTY, 5th, 2001)。 (水酸化ナトリウム)

ウサギによる試験で腐食性(SIDS (2001))、ヒトに対して腐食性 (SIDS (2001))の記載があり、国連分類クラス 8II に分類されている。 (水酸化カリウム)

重篤な皮膚の薬傷・損傷 (区分 1 A)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：

ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) 及びウサギに対して corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000) あり。 (水酸化カルシウム)

ヒト眼に対して severe, serious hazard を引き起こすとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol.12, 1999; PATTY, 5th, 2001) 及びウサギ眼に対して 1.2%以上で corrosive を引き起こすとの記述あり (SIDS, 2002)。 (水酸化ナトリウム)

ヒトに対して不可逆な障害があり (SIDS (2001))、ウサギの試験で腐食性(SIDS (2001))の記載あり。 (水酸化カリウム)

重篤な目の損傷(区分 1)

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし

特定標的臓器・全身毒性、単回暴露：

ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) あり。 (水酸化カルシウム)

ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (SIDS, 2002; ACGIH, 7th, 2001; DFGOT vol.12, 1999; PATTY, 5th, 2001) あり。 (水酸化ナトリウム)

粉塵又はミストを吸入暴露すると鼻、気管気管支に熱傷等の障害を起し、肺水腫にまで至る (SIDS (2001)), (ACGIH (2001)), (PATTY (5th, 2001))の記載あり。 (水酸化カリウム)

特定標的臓器・全身毒性、反復暴露：

ヒト肺を冒すことがあるとの記述 (ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002) あり。 (水酸化カルシウム)

## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

魚毒性： 甲殻類 (ネコゼミジンコ属) : 48 時間  $LC_{50}=40.4\text{mg/L}$  (SIDS, 2004) (水酸化ナトリウム)

残留性/分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水で溶解後、酸 (希塩酸、希硫酸等) で中和処理する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃

棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装:空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 3262

品名 : その他の腐食性物質 (無機物、固体、アルカリ性のもの)

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)

容器等級 : PG III

海洋汚染物質 : 非該当

注意事項

輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 :

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(平成28年6月1日以降)(法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2別表第9)

政令番号第317号(水酸化カルシウム)本製品は労働安全衛生法表示・通知対象物質である。

政令番号319号(水酸化ナトリウム)本製品は労働安全衛生法表示・通知対象物質である。

政令番号316号(水酸化カリウム)本製品は労働安全衛生法表示・通知対象物質である。

毒物及び劇物取締法 :

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法 : 該当せず。

#### 1 6. その他の情報

主な引用文献

和光純薬工業:製品安全データシート W01W0119-1052 JGHEJP

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。